学部・学科等

講義テーマ・講義概要・対象学年等

経済学部／経済学科／経済政策コース

経済学で考えるまちづくりと都市交通

地球温暖化、高齢化、中心市街地の空洞化といった問題に対し、自動車に頼りすぎた都市交通のあり方が問われています。経済学の視点から、公共交通を中心にどのようなまちづくりが考えられるのかをお話しします。

若干の数学を用いたミクロ経済理論

消費者や企業の行動を若干の数学を用いて解説します。標準的経済理論は、消費者は「効用」と呼ばれる心理的満足度合いを最大にするように行動し、企業は利潤を最大にするように行動する、と仮定します。そしてさまざまな原則を導き出します。本講義では微分法を用いて、そうした個別の経済主体の行動を分析することにします。さらに、家計や企業がモノを売買する「市場」について考えます。とりわけ「一般均衡」と呼ばれる、市場経済にとって好都合な状態について解説します。

どうして保険証を持って病院に行くの？

病院に行く時、保険証を持って行くのはなぜ？遠足の時、保険証のコピーを持ってくるように言われるのはなぜ？社会保障というと難しく聞こえますが、実は私たちは普段から何気なくこの制度を使っています。身近な「なぜ？」から、社会保障の一つである健康保険について学びましょう。

経済学が地球を救う!? －CO_2排出権取引－

地球温暖化対策は地球規模での最も緊急を要するテーマの一つです。現在、ヨーロッパなどではCO_2排出権市場が創設され、排出権が取引されています。排出権とは何か、排出権を売買させる意味はいったい何なのか。経済学から生まれた環境政策である排出権取引制度を解説します。

アフリカで起こっている資源にまつわる話　2年生以上

アフリカの大地には、膨大な資源が存在しています。この資源がもたらす莫大な収入を上手に使えば、アフリカを貧困から救うことができますが、現実には、汚職や紛争によって大多数の庶民が取り残されています。本講義では、このようなアフリカ資源国が直面する現実とそれを解決するための有効策についてお話しします。

環境問題のルーツ

日本の環境政策は欧米のそれと異なると言われています。なぜ日本の環境政策は特異なのか。環境問題と環境政策のルーツをキリスト教やイスラム教といった宗教にもとめて考えていきます。

経済学で正義を語る

一流のメジャーリーガーの報酬は果たして正当かどうか？彼らはアメリカ合衆国大統領の数十倍の報酬を得ています。しかし、仕事の内容はアメリカ合衆国大統領の方が重要ではないのか？彼らはいかなる根拠でそのような高い報酬を得ることができるのか？このような報酬格差は正義にかなうといえるのか？市場の論理と社会的正義の関係を講義します。

知っておくと得する税金の話

私が担当している講義では、消費税率の引き上げの是非などの議論を紹介していますが、所得税の節税方法についても解説しています。サラリーマンになると誰もが支払わなければならない所得税。結婚、出産、住宅購入など、人生のさまざまなイベントにおいて、知っておくと得をする税金の知識を伝授します。

市民生活と税

都道府県や市町村のことを地方自治体と言います。この地方自治体は、消防や学校など市民生活にとって必要なさまざまな行政を展開していますが、一方で、市民は税金を支払ってそれを支えています。市民生活と税金にはどのような関係があるのかを考えてみましょう。

日本政府の台所事情 －財政赤字の現状と課題－

日本の政府債務は1,000兆円を超え、その規模は債務危機に陥ったギリシャの比ではありません。本講義では、ここまで債務を抱えるようになった原因や財政再建のための対策について解説し、高校生の皆さんに今後の日本財政のあり方を考えるきっかけを提供できればと考えています。

確率と統計でものを考える

私たちの身の回りの現象には必ず誤差があるので、深刻な状況での判断は難しいものとなります。バーゲンを待つべきか、保険に入るべきかといった問題を解決するときには、無意識にせよ確率を意識しているものです。身近な確率現象を考えてみましょう。

金融で騙されない消費者になるためには？

若者がゲーム課金や奨学金などの金融問題に直面する場面は増えています。また成年年齢引き下げにより、高校卒業後は未成年としての保護を受けられなくなりました。本講義では、行動経済学の知見などを活かして、金融で騙されない消費者になる方法を考えます。

日本の食から考える環境問題

日本の食のあり方とその変化が環境に多大な影響・負荷を与えています。例えば自給率の低下、食品廃棄物の大量発生、農薬や化学肥料の多用、生物多様性の危機といった諸問題が生じているのです。食農問題を入口に環境問題を考察します。

「転売ヤー」は罰するべき!?：「不正転売」の経済学

有名アーティストのコンサートでは、公式の販売業者ではなく、個人や業者によって転売が行われることがよくあります。転売行為を経済学ではどのように考えているのかについて本講義では解説します。加えて、不正転売禁止法を経済学的に考察します。

学部・学科等	講義テーマ・講義概要・対象学年等	□は履修していることが望ましい科目

経済学部／経済学科／経済政策コース

政策効果を（経済学的に）真剣に考えよう

社会の課題を解決するために、さまざまな政策が実施されています。貧困対策や教育支援といった身近なものから気候変動緩和に向けた世界的な目標などが挙げられます。これらの政策の効果はどのように評価されるべきでしょうか。経済学の考え方を用いて検討してみましょう。

経済学部／経済学科／歴史・思想コース

日本の最初の鉄道はどのように導入されたのか？

1872年に日本最初の鉄道が新橋・横浜間に開業しました。私たちは、この「結果」だけを見て、明治維新後かなり早い段階で鉄道が完成したことを評価していますが、ではどうしてそれが可能となったのでしょうか。鉄道への理解は？誰が建設したのか？費用はどうしたのか？など、鉄道ができるまでの「過程」について考えてみます。

ペリーはなぜ日本にやって来たのか？

幕末の日本に黒船を率いたペリーが来航したことにより、江戸幕府は開国を余儀なくされ、日本は国際社会と密接に結びつくことになりました。では、ペリーはなぜ来日したのでしょうか？ペリーは、必ずしも日本との貿易を求めて来日したわけではありませんでした。本講義では、黒船来航の背景を、当時の国際経済の状況およびアメリカの経済発展をふまえつつ考えます。

経済学への招待 －いま日本で経済を学ぶ意味とは－

今の日本で、とりわけ若い世代が経済や経済学を学ぶ意味とは何でしょうか。本講義では、日々の暮らしが経済全体の大きなつながりの中ではじめて成立していることを実感していただくとともに、「経済学的思考」の特徴の一端を解説します。

アフターデジタル

20世紀末から急速にグローバル化する社会経済の特徴を、歴史的な出来事（産業革命、市民革命、ドルショック、リーマンショック等々）や経済学の誕生・歴史と関連づけ、大きな流れの中で捉えることで、現在の日本経済の位置を確認し、今後の日本と世界の社会経済の方向性を提示します。

リーダーシップとは何か？ －経済学の視点で考える－

本講義では、経済学と商学・経営学との視点（基本的な考え方）の違いに触れながら、企業のブランド力を根底から支える組織リーダーの役割について解説します。講義を聞いた高校生の皆さんが、「経済学っておもしろそう！」と感じてくれたなら、講義担当者としてこれ以上の喜びはありません。

経済の歴史を学ぶ意味

学生の皆さんに日本史や世界史を勉強する理由を聞かれる事があります。過去を知って何か得をするのか等々…。そのような質問の時に私はこのように質問を返します。「あなたは今までの人生ですべて失敗なく過ごしてきましたか？」と。おそらく誰もYESと言わないと思います。そうです、誰でも失敗をするのです。それは国や社会でも同じです。歴史はそのような過去の成功や失敗をしっかり理解し、将来同じような状況が生じた時に考えられるベストの選択をするための傍証としてあるのです。単なるノスタルジーだけではありません。本講義では、その歴史学の一端を経済史の立場で披露します。

身近にある経済史雑談

「イギリスの人はずっと昔から紅茶を飲んでいる」といったイメージがありませんか？「ハイヒールやスカートは女性の履くもの」と思っていませんか？ファッション誌an・anの女性の生活を大きく変えたインパクトなど、皆さんの身近なところに経済史のテーマがあります。少しではありますが、皆さんと身近な経済史についてちょっと「雑談」します。

アフリカ：「暗黒大陸」から「輝ける」大陸へ

皆さんは「アフリカ」に対して、どのようなイメージを持っていますか？暑い？ジャングル？野生動物？アフリカは、ヨーロッパより古い歴史と文明を持った大陸、そして、実は皆さんの毎日の生活にも大きく関わっている大陸です。本講義では、そのような奥深いアフリカを自然環境と人間社会の2つの点から見ていきます。

〈9月～3月出講不可〉

おカネとはなにか

皆さんがお買い物のときに使っているおカネの本質はなんでしょうか。「金（ゴールド）」でしょうか？紙幣の印刷の細かさ・きれいさでしょうか？なぜ紙幣はただの「紙」なのに「1,000円」や「10,000円」の価値を持つものとして他の人が受け取ってくれるのでしょうか。おカネとはなにかを一緒に考えてみましょう。

産業革命は本当に革命的な出来事だったのか？

□世界史

18世紀半ばからイギリスで始まった産業革命の結果として、それまでの農業社会に代わって工業社会が成立したと言われます。本講義では、このような産業革命が本当に革命のような劇的な変化をイギリスの経済や社会構造にもたらしたのかということを考えます。

トップダウンかボトムアップか －ケインズとハイエクの論争から学ぶ政府と市場の関係－

ケインズとハイエクという20世紀に活躍した二人の経済学者が、何について争い、何が重要だと主張したのか。本講義では、過去の経済学者の対立・論争を振り返りながら、現代社会の経済問題を構想する際の座標軸について受講者とともに考えます。

学部・学科等

講義テーマ・講義概要・対象学年等

経済学部／経済学科／産業・企業経済コース

企業の価格戦略を経済学の視点で読み解く

ビジネスの現場で見られる企業の価格戦略には、実におもしろい経済学的な論理が隠れています。企業が利益を追求するために行う価格戦略が、経済社会に与える影響について考えてみましょう。

スポーツ事例しばりの確率統計入門

「野球の送りバントは有効なのか？」「デュースを制する確率はどれくらいか？」「テニスは番狂わせが起こり辛いのはなぜか？」このようなトピックを確率統計の手法を使って講義します。高校の数学の基礎知識と確率統計の基礎知識でお話しする予定です。

イノベーションという言葉を聞いたことがありますか？

コンビニに行くたびに、チョコレートやポテトチップスの新製品に気付くでしょう。また、携帯電話なども日々機能やデザインを新しくしています。新製品やサービスを実施することをイノベーションと呼びます。本講義では、イノベーションについて考えます。

契約と制度設計の経済学

経済学の裾野は20年から30年の間で大きな広がりを見せました。特に、今まで分析できなかった組織などの制度について分析できるようになりました。本講義では、契約と制度設計という観点から、さまざまな社会問題を契約や制度の導入によって、いかに解決できるかという問題について考えます。

なぜ人は特定の場所（都市）に集まるのか －東京一極集中と過疎について考える－

皆さんは都会と田舎どちらに住みたいですか？現実には、東京など多くの人が集まる場所がある一方で、ある場所からは人が減っていきます。なぜ人はある場所に集まるのか？このような問題について経済をキーワードに解説します。そしてこうした人が集まる場所（都市）こそ、経済のグローバル化が進む今日の経済発展を考える上で重要な意味を持つようになっていることを説明します。

100円ショップから学ぶ流通経済

1990年代以降今日にかけて「100均」の成長が続いています。本講義では成長を続ける100均企業の経営戦略や100均の成長を促している経済・社会的背景について解説し、大学で学ぶ流通経済論について紹介します。

コンピュータ・モデリングで自然界・社会の不思議に迫る

私たちが生活する自然界・社会には、「なぜ」と首をかしげる現象が多く見られます。例えば、自然界には鳥や魚の群れ形成、社会にはバブルの形成・崩壊などがあります。本講義では、このような現象が起こる仕組み（システム）を数式やコンピュータでのモデル化を通して、その謎に迫ります。

株の取引から理解する経済学

テレビでは今日も「株」のニュースが流れています。大人たちは毎日、株を売ったり買ったりしています。彼らはいったい何をしているのでしょうか。私たちの生活にどのような意味をもっているのでしょうか。本講義では、株の取引を題材にして経済学を紹介します。

働くことを経済学で考える

買い手と売り手のいる取引では経済学の考え方が利用できます。働くことも働く人と企業との取引ですから、経済学を使って考えることができます。本講義では、人によって賃金が違うという問題、女性の働き方と少子化の問題などを経済学という道具を使って考えてみます。

データに強くなろう －情報を読み取って、問題の解決に役立てよう－

データを注意深く調べると、物事を理解するのに役立ちます。今後どうなるか、将来の姿を予測することもできます。本講義では、実際にデータの測定を行い、「データがばらつく」ことを体感します。ばらつくデータをどうまとめればよいか、そこから何がわかるかを考えていきます。

行動経済学

「先着○名限定」とあると必要ないのに買ってしまう、週末予定していた掃除を当日面倒になりやめるなど、私たちにはついついやってしまう行動があります。経済・心理実験を通して人間行動の特徴を発見し、複雑な経済現象に対する理解を深めていこうとするのが行動経済学という分野です。本講義では行動経済学の知見をわかりやすく紹介します。

給料はどうやって決まる？：評価と報酬の経済学

タクシー運転手、証券会社の営業マン、お笑い芸人は、仕事の成果に連動して給料が決まる歩合制です。一方、公務員や大学教員の給料は成果に連動しません。職業によって給料の決まり方が異なるのはなぜでしょうか？そもそも、仕事の成果をどのように測るのでしょうか？社会人になれば避けて通れない評価と報酬の問題に、経済学の視点からアプローチします。

医療サービスの価格は誰が決めているのか？

病院で受診した際、帰りに窓口で料金を支払います。料金を支払うということは、医療サービスに価格が付けられているのですが、この価格は誰が、どのような目的で決めているのでしょうか？本講義では「価格」をキーワードに、日本の医療制度の特徴などを説明します。

制度設計の経済学

メカニズムデザイン理論は、より良い結果をもたらす制度の設計問題を考える理論です。メカニズムデザイン理論が実際に使われている例には、研修医を希望する病院に配属する研修医マッチングや多くの腎移植を実現する腎移植マッチングなどがあります。本講義では、それらの応用例を簡単に解説します。

経済学部／経済学科／国際経済コース

ミクロ経済学の考え方

ミクロ経済学とは、消費者(家計)・企業・政府という個々の経済主体の行動に着目して取引(交換)の仕組みを解明していこうとする理論経済学の一分野のことです。主な分析対象は、需要と供給、そしてこの二つが出会う場としての市場の三つです。本講義では、このようなミクロ経済学の概要についてできるだけ簡単に説明します。

世界の貧困を考える

世界には豊かな国と貧しい国があります。所得が低い国では健康や教育の水準も低くなりがちです。近年、経済学では実験的アプローチにより政策の効果を測定することが注目されていますが、開発途上国が経済発展を遂げるために必要な政策を考えてみましょう。

「等身大」の中国経済への招待：アリババ篇

2年生以上　政治経済

中国の新興企業、世界の電子商取引王者、アリババグループとその最も重要な子会社、アントグループを通して、中国経済と中国の経済制度を覗いてみましょう。

やさしい国際経済学：なぜ国際貿易や金融取引は必要なのか？

海外からの商品の輸入や企業の海外進出など、現代の経済活動は地球規模で行われています。このようなグローバル化の是非についてさまざまな議論を耳にします。本講義では、標準的な経済学が国際貿易や金融取引をどのように捉えているかを解説します。

台湾から見るアジアの経済

20世紀後半に旧植民地から高度経済成長を果たし、先進国型の経済に変貌したNIEs(Newly Industrialized Economies)。彼らはどのようにしてそこにたどり着いたのか。NIEsの優等生といわれた台湾の発展史を概観し、このアジアの近代化、国際化、グローバル化について考えます。

ヨーロッパ統合について考えてみよう

ヨーロッパの多くの国々は、地域の共同体、EUを形成しています。統合による平和と経済の繁栄を目指すEUは、この15年間、ユーロ危機や新型コロナウイルス危機等、様々な危機に直面しました。本講義では、EUの統合に向けた原動力や、新たな課題への対応について学びます。

東南アジアの経済発展の課題と可能性

今日、アジアは世界屈指の高成長を実現していますが、同時に大きな貧富の格差を抱えた地域でもあります。日本やシンガポールといった高所得国がある一方で、ネパール、ラオスといった最貧国も多く、また不安定な政治状況により、なかなか発展が困難な国もあるのが現状です。本講義では、こうした「途上国」とされる国々の発展への課題と可能性について、一緒に考えていきます。

身近な経済学：グローバル化に対応する！

私たちの日常生活は選択(チョイス)の連続です。経済学では、個人や社会は自分にとって利用可能な機会の集まりをまず定め、その中で自分が最もハッピーになるような選択肢を選ぶとし、さまざまな経済現象を説明していきます。本講義では、消費者の選択などの身近な問題から、企業による新卒採用や円高などのグローバルな経済問題までを経済学でどのように解くのかについて解説します。

ベーシック・インカムは経済的不平等を解消するのか

2年生以上　政治経済

ベーシック・インカムという政策案が日本を含むいくつかの国で議論されています。この政策案はすべての個人に一定の所得移転を行うことを基本とします。ベーシック・インカムが貧困や経済的不平等を解消するうえで適切な政策であるのかを、本講義は経済学的に分析します。

経済成長とは

今年の経済成長率は○%とか、中国の経済成長率は高い、という話を聞いたことがあると思います。本講義では、経済成長率はどのようにして決まるのか、私たちの生活とどのような関係があるのか、将来はどのようになるのかなどについて考えます。

経済成長

かつての日本経済は、急速な発展を遂げていたにも関わらず、現代では低成長時代に陥っています。日本だけでなく、経済発展とともに経済成長が鈍化する現象は、他のさまざまな国でも確認されています。この現象の背後に潜むメカニズムを学びましょう。

景気対策ってなんだろう？ －世の中のお金の流れを考える－

経済学のおもしろさ、重要性を知るための基礎的な講義です。景気対策ってどういう意味？国内総生産(GDP)って何？景気対策をすると何が変わる？といった疑問に、わかりやすく答えます。

世界の経済と社会に関するファクトフルネス

世界の人口のうち、極度の貧困にある人の割合は、過去20年でどう変わった？現在、低所得国に暮らす女子の何割が、初等教育を修了する？世界中の1歳児の中で、なんらかの病気に対して予防接種を受けている子どもはどのくらいいる？思い込みを捨て、データを通じて世界を見てみましょう。